

お客様各位

2015年 7月 10日
東京計器株式会社
船用機器システムカンパニー

弊社製品 船舶自動識別装置(AIS)型名 TRA-2000 内蔵 GPS のロールオーバーについて

平素は弊社製品をお使いいただき誠にありがとうございます。

弊社販売の船舶自動識別装置(AIS)型名 TRA-2000のロールオーバー^{*1}の対応について、ご連絡いたします。
なお、発生時期は2020年以降と連絡しておりましたが、AIS送受信機のサプライヤからロールオーバー発生日に変更がある旨の通知がありましたので合わせてご連絡致します。

対象機器: 船舶自動識別装置(AIS)TRA-2000
(2005年9月から2011年9月までに出荷。製造番号 SN2535以前)

発生時期:

2015年8月16日以降、AIS機器の主電源を切った後、再度主電源を入れた場合に発生する場合があります。短時間の電源断は問題ありません。また、表示機の電源操作を行った場合は、問題ありません。

- 症 状: 1)操作画面の年月日が正常の値を示さなくなります。
2)STATUS INDICATION LISTに“UTC clock lost”が表示され、自動的にAIS送信モードが「UTC Indirect」になります。この場合、手で「UTC direct」に変更出来ません。
この状況は、コーストガードから本船に搭載するGPSが欠測あるいはGPS受信機が故障していると判断されるため、指摘を受ける恐れがあります。
3)現象に起因するアラームは発生しません。
4)自船位置情報の送信および他船情報の受信は問題なく行われます。

対 応: ソフトウェアをバージョンアップ(Ver5.3.1)いたします。
バージョンアップに関して、下記に示します弊社船用営業部またはサービス部にお問合せ下さい。
なお、弊社へ連絡なくバージョンアップを行った場合には、動作保証は致しかねますので、ご了承願います。

お願い :AIS機器の主電源を切らない限り、ロールオーバーは発生しませんので、バージョンアップをするまでの間、AISの主電源を切らないで下さい。

弊社連絡先 <http://www.tokyo-keiki.co.jp/marine/j/office.html>
営業代表番号 TEL: 03-3737-8611 FAX:03-3737-8663

Web メールでの連絡先 https://www.tokyo-keiki.co.jp/form/webform_marine.html

注:2011年10月以降の出荷(製造番号 2536以降)の場合、発生は2019年以降となりますので、対応について後日お知らせします。

*1 ロールオーバーとは

GPS衛星から1980年1月6日を起点とする経過時間が送信されています。経過時間は「週番号」と「秒」の二つで表されていますが、「週番号」は10ビットのデータであるため、0週目から1023週目までしか表現出来ません。1023週目(約19.6年)を過ぎると0週目に戻ってしまいます。これをロールオーバーと呼びます。つまり、ロールオーバーが発生すると日付が過去にさかのぼり、1024週前の日付となります。

AISの日付表示は「週番号」を利用しているため、この影響は避けられません。よって、定期的なメンテナンスが必要となります。

以上